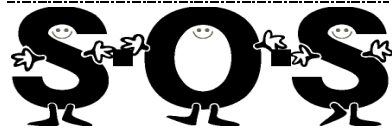


◆通所介護ナイス・デイ◆訪問介護ナイス・ケア◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら



vol. 169通信
H26年9月8日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
代表TEL：(0567) 26-3921
FAX：(0567) 26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

共に歩く／ナイス・ホーム

認知症初期のOさん。小規模登録してから5ヶ月が経とうとしている。馴染みの関係、じっくり関わる訪問、通いや泊まりの連携・・・それを持ってしても、何回かに一回は『通い拒否』。
泊まり利用、夜間は殆ど寝れない。時には興奮状態になり、口調が強くなる事もある・・・
毎日関わっている家族は「いい時もあるけど、悪い時はホントにどうしようもなくなっちゃう。」と疲れてしまっている。
先日の泊まり利用時、ふらふらと外にでていたが、とうとう敷地内から飛び出した。スタッフが付添い、約30分の散歩♪歩いた結果、「やっぱり今日は泊めてもらおうかな」と自ら希望された。「じゃあ、戻ろうか」と一緒に戻る。この先、こんな事は多々あるのだろうと思う。
認知症の初期は本人の混乱が強い。本人も介護している家族も辛い時期。決して一人で抱え込んでほしくない。
私達は、本人や家族の状態に合わせて利用を提案し関係者とも連携を取る。上辺だけの関わりではなく、家族の歩幅に合わせて、一緒に歩ける存在になりたいと思っている。(Y・O)

終の棲家／愛宕の家

1か月ほど前になるが、Oさんが愛宕の家を退去された。色々な事情で、他の施設へ移られたのだが、Oさんは「なんでここにおったらいかんのかなあ」と時折訴えられた。
97歳のOさんの昔話を聞いていると、幼いころから随分苦労されたのだと思う。それを淡々とあつけらかんと話されるのは、ご自分でも言われるように無我夢中で生きてこられたからか。でも、長い人生の中で見送ってきた親しい人々のことを思い出して、ちょっと涙ぐむ事もある。私から見ると、強さとかかわいらしさ兼ね備えているOさん。愛宕の家を“終の棲家”と思っていたかは定かではないが、退去の日も涙と笑顔で去って行かれた。
今、愛宕の家は17名。入居者さんに、“終の棲家”と思っていたらこんなに嬉しい事はない。
後日、Oさんが行った先でも元気に楽しくしていると聞いてホッとした。(K・T)

＜9月予定＞

10日 外食DAY
15日 敬老の日
20日 避難訓練
29日 誕生日会

＜不定期行事＞

天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します

＜利用状況案内板（☆募集中 ☆満員）＞

☆ナイス・ケア
☆ナイス・デイ（定員10名/日）

日	月	火	水	木	金	土
5	7	7	7	6	7	8

☆ナイス・ホーム（登録者20名/定員21名）
☆愛宕の家（入居者16名/定員17名）
☆つしま紹介所 ☆ナイス・キッズ
☆打太鼓9月生（新メンバー）大募集♪

～上記を参考にご利用下さい～

情報交換／ナイス・ケア

週1～2回の定例カンファレンス。訪問先の内容確認をしていると、「へえ～！」「えっ、本当？」等の反応が飛び交った。『どうということ！？皆、対応が違うってこと？』と担当者はびっくり！！タイムスケジュールに沿って確認すると、皆、利用者さんを主に動いているが、方法や判断基準が違っていた。しかし、その反面、利用者さんがヘルパーの個性を見抜き、個性に合わせた対応を上手に求めているようにも捉えられた。物事の両面性とはこのことだと思わず笑った。
ヘルパーが気配り目配り・・・と思っても実際には各家庭へのホンのわずかな訪問時間。利用者さんがヘルパーを見極めて、より良いサービス提供を受けるために試行錯誤している可能性は大いにある。それが本当かもしれない。
介護計画に背いて無い限り、利用者さんの不安感を招いたり我慢させていない限りは、方法が統一されてなくても大丈夫ということにもなる。でも、対応方法が同じでないことには気付いた。担当者連携で、何が利用者さんにとってより良いサービスなのかは常に意識したい。(T・Y)

日々の出来事／看護師

スタッフのふくらはぎに湿疹？が出来た。「〇〇皮膚科に受診してね」と言う『〇〇皮膚科は通院の日時を守らないと駄目だと聞いた。だから行かない。治ればいいんだからどこでもいい』と言う。「看護師としての命令です。〇〇皮膚科に行きなさい」と釘を刺した。受診結果は、かぶれが原因のようで、皮膚疾患や内科的なことが原因でなくて良かったとスタッフ皆が思っているだろう。
自分だけの身体でないことを肝に銘じて欲しい。無理が重なることもあるのが現実。忙しい毎日の中でも自分の精神的身体的な健康を維持する能力を身に付けてほしい。自分の健康を維持することで、相手を思いやる、受け入れるための気持ちにゆとりができる。ゆとりを持てる者は、誰かのため何かのために気持ち良く動けるのだ。(M・T)

夏休みサイコー！！／ナイス・キッズ

待ちに待った夏休み。うちの長男は学校がある時は月・土・日・祝のみの利用。今年の夏休み、初めてキッズを毎日利用した。午前中は勉強時間。昼食を食べて、午後は自由時間。楽しくて仕方ない様子で、私がお休みの日、子供と一緒に過ごそうと思っていたも、「キッズに行きたーい」と言った。
「夏休みどうだった？」と8月31日に聞いてみた。「パティーファイトと～、川へのダイビング（美杉合宿）と～、お泊まり会と～、・・・♪♪」真っ黒に日焼けして楽しかった事を素直に私に伝えてくれる我が子を見ると嬉しく思う。子ども同士で過ごし、その日の予定やルールを決める。大人は過ごし方のヒントを投げかけ軌道修正するだけ。そんな夏休みを過ごした我が子。2学期からの学校生活ではどんな風に考えて行動できるようになるのか楽しみだ。でも・・・キッズで過ごした思い出だけで私と一緒に過ごして楽しかったことが話に出てこない。キッズにちょっと嫉妬しちゃうな。(Y・O)

編集後記

8月、利用者アンケートのご協力ありがとうございました。先日、ナイス・ホームの第3者評価機関へ調査費用を振り込みました。毎年思うのですが、その金額は決して安くありません。金額に見合った調査、そして事業所の評価を受け、常に、更なる努力ができる事業所でありたいと思います。(Y・O)



先日の夏の宴には多くの方々にご参加頂き感謝申し上げます。
恒例の盆供養には、90歳を越える弘法様より、昨年を上回る元気な声で盂蘭盆経を頂き、感謝でいっぱいです。
盆踊りの舞台として、櫓を中心に全体が輪に繋がったことも良かったと思います。
和太鼓演奏は、途中雨に降られ、満足のできる鑑賞ではなかったものの、日頃の努力を披露させてもらう事が出来ました。
天候が悪く、軽食は室内となったため、バタバタとしてしまいましたが、最後のスタッフ達のビックリショーでは違った一面を披露し、皆様もさぞビックリされた事でしょう。
無事にこの暑い夏が終わりました。これからも、皆様にご協力を頂き、スタッフ共々、寒い冬を元気に乗り切れるよう頑張っていきます。今後共よろしくお願い致します。(Y・I)

気持ちを大事に／ナイス・デイ

7月、配置移動によりデイサービス担当の機会が多くなった。こんな私だが、生活相談員として関わることになった。今までは、社会参加や心身機能の維持向上などの話題は漠然と聞いていた。
今、改めてじっくりと関わってもらい、デイサービスの本質は何だろうと考えるようになった。当然、身体機能や意欲の維持向上という理屈も理解できる。でもやっぱり、“利用者さんの笑顔や嬉しい楽しいと思える場所作り”だと考えるのが一番かな・・・今からの人生を豊かに過ごしたいと思うのは誰でも皆同じでしょう。偉そうなことを言ってもまだまだ未熟な私。今は少しでも利用者さんの役に立ちたいと思う。(A・H)